

TOPPOS

TOKIWA POST

VOL. 33
SPRING

常磐大学
大学院 国際学部
人間科学部 コミュニティ振興学部
常磐短期大学

常磐大学高等学校
常磐短期大学 附属幼稚園

[2004.3.20]

発行 / 学校法人 常磐学園 編集 / 学園報編集室 水戸市見和1丁目430-1 電話 029(232)0007 http://www.tokiwa.ac.jp/



激戦区東京で本格的に就職活動開始!



不安定な社会状況を背景に、毎年厳しさを増す就職活動。そんな就職活動を少しでも早く体験してもらうため、本学就職課が主催する「就職支援バスツアー」が1月29日に決行された。参加した約130名の学生たちは、激戦区東京で何を感じたのだろうか。



出発直前に、本学キャンパス内で意気込みを示す約130名の学生たち。今回のバスツアーは、大型バスを3台チャーターして実施された。開場と同時に、大勢の学生たちが入場の手続きを開始する。人気企業の前には、常に順番を待つ学生たちが並んでいる。



学 生たちが社会人になるための第一歩就職活動がいよいよ本番だ。依然として厳しい採用状況を踏まえて、学生たちの意識も日を追うごとに高まってきている。そんな学生たちに全国でもトップレベルの激戦区である東京の現状を体験してもらうため、一月二十九日に本学就職課主催の「就職支援バスツアー」が行われた。バスツアーの内容は、大型バス三台をチャーターし、東京ビッグサイトで開催される「日経就職フォーラム」に参加するというもの。約一三〇名の学生たちが真新しいリクルートスーツに身を包み、就職活動の最前線へと向かった。

バスの中では株式会社デイスコの専門スタッフが、企業の採用傾向などのデータをもとに、就職活動に臨む心構えをレクチャー。また「内定者が語る二〇〇三年就職戦線」というビデオも上映され、エントリーシートの書き方や面接に際しての心構えなど、先輩たちの貴重な体験談に学生たちは熱心に耳を傾けていた。

会場に到着したのは十時三十分。開場してまだ間もない時間にもかかわらずホールは大勢の学生たちの熱気であふれ、人気企業のブースの前にはすでに長蛇の列。「ひとつでも多くのブースを回るように」と車中でアドバイザーを受けていたが、スケジュール通りに回るのは非常に困難だ。しかし、こうした現状を体験的に把握することは、これからの就職活動にプラスになることは事実。そしてなにより一日で一万人以上の学生が集まるフォーラムは、学生のモチベーションを刺激するきっかけにもなる。今後の就職活動に対する意識や取り組みに、大きな影響を与えるバスツアーだった。

今回のバスツアーに参加した、人間科学部コミュニケーション学科三年の渡辺美香さんは「実際に人事の方にお会いすると、インターネットなどの情報とは違うリアルなお話が聞けて、とても参考になりました。就職活動は厳しいと言われていますが、自分なりに努力して、内定をいただけたように頑張りたいと思います」と収穫を語り、人間科学部コミュニケーション学科三年の小橋麗恵さんは「東京の学生は積極的ですね。今日の行動が内定につながることを意識して、私も積極的な活動を実践して行こうと思いました」と、意欲的だ。



会場となった東京ビッグサイトには、2日間で2万人を超える学生が集まる。

シリーズ33 サンシュユ

春は花、秋は果実が美しい薬用植物。

本学幼稚園のトトロの森に自生しています。今は花の季節。美しい花で心の疲労を回復してみたいかがでしょう。

サンシュユとは聞き慣れない名前ですが、それは漢名の山茱萸(サンシュユ)をそのまま音読みしているため。やや渋く甘酸っぱいゲミのような果実が薬用となり、乾燥させたものを煎じたり、ホワイトリカーに漬け込み、滋養強壮や疲労回復、また冷感性にも効果があるという山茱萸酒を作ることもできます。

また、あまり花のない早春の時期に、葉より先に黄金色で四枚の花弁を持った小さな花を束にしたようにたくさん付けることから「ハルコガネ」の別名が付けられました。また、秋には一〜二センチほどの楕円形の果実を結びます。この秋の果実が赤い珊瑚のように美しいことから「アキサンゴ」とも呼ばれています。



常磐の四季

常磐大生が創る雑貨コーナー グランパGANK☆

企業が抱える問題を学生の視点で捉え改善策を提案しようという取り組みが、国際学部・北根精美先生のゼミナールで実施された。ご協力いただいた企業は株式会社駿河屋。『頑固おやじ』という名称で、素材にこだわる手作り家具から雑貨までを販売する会社だ。いただいた課題は、若者をターゲットとした雑貨コーナーの開発。北根ゼミの学生十一名が、若者に訴求する雑貨コーナーづくりに着手した。



実際に店舗の一部を運営するビジネスとして行われる実習のため、企画会議にも熱が入る。

若者をターゲットにした商品を選ぶ。決められたカタログからセレクトするため、なかなか思うようには行かない。



四月のこと。店内視察、グループインタビューを経て、ゼミ生が打ち出したコンセプトはレトロ・アメリカン。しかしこのコンセプトをもとに売り場を作るためには大掛かりな改装費用などが生じる。そこで、すでにある商品やディスプレイを用いて若者向けのコーナーを作ることにした。名称は「グランパGANK」。商品選定やディスプレイなど、ターゲットを意識しながら七月八日のオープンを目指してプロジェクトは推進された。

そしてゼミ生たちは作業効率を考慮、ディスプレイ・ポップ班、広告班、プロモーション班の三つの部門に分かれて活動を開始。ディスプレイ・ポップ班は低コストでいかに商品を魅力的に見せるかが大きな課題。店にあるクロスや器を利用して、若者たちの購買欲を促進させるディスプレイを行った。また広告班は、頑固おやじの新聞折り込みチラシに宣伝スペースをいただき、実際に広告を作成。そしてプロモーション班は、頑固おやじの認知度を上げるため、学内にポスターを掲示。さらに目玉商品であるアロマ・キャンドルの宣伝として、学内で香り体験などのイベントも実施した。

プロジェクトに参加した国際学部国際ビジネス学科三年の竹内稚香子さんは、「経営者の視点から店舗を捉えることができたのは、とてもいい経験でした。このプロジェクトで得たものを、これからの就職活動にも活かしていきたいです」と、自分のキャリアとなったプロジェクトを振り返っていた。

現在は『頑固おやじプレゼンツ常磐大生がおくる「いやしの森」として運営。右のゼミ生4人が関わっている。

実際に並べてみないとディスプレイは分からない。商品を魅力的に見せるために試行錯誤がくり返される。



ついに「グランパGANK」完成！オープンはプロジェクト発足から約3カ月目の7月8日だった。

購買欲をそそるディスプレイは、店舗づくりの基本。すべて店内にある商品でまかなわれている。



竹内 稚香子さん
国際学部国際ビジネス学科三年

斉藤 麻衣子さん
国際学部国際協力学科三年

永井 宏美さん
国際学部国際ビジネス学科三年

合澤 めぐみさん
国際学部国際ビジネス学科三年



パワーポイントを使ったプレゼンテーション。発表後の質疑応答に備え、真剣に耳を傾ける学生たち。

●課題研究／起業家ゼミ
起業を通して学問の関連性を理解
短期大学経営情報学科の二年生たちが、一年間かけて取り組んできた課題研究。その集大成となるプレゼンテーションが一月十四日に行われた。テーマは「起業」。学生が企業の経営者となり新規事業を立ち上げるといふ設定で行われる授業だ。企業はあくまでも架

空だが、名称所在地、資金なども設定し、マーケティングから始める本格的なもの。立地条件によって変わる家賃なども詳細に調べ、かなり現実的な事業計画を構築する。

このプレゼンテーションに参加した井上真由美さんは「会計、経営、情報など、普段は別々に学んでいる学問がすべて関係していることが分かりました」と語り、石井絵美さんは「自分の専門以外の知識も、たくさん増やすことができたと思います。もちろん就職活動にも役立ちましたよ」と充実した笑顔を覗かせていた。



慣れた手付きで調理をこなす、園児のお母さんたち。メニューはスイートポテトやクリスマスクッキーなど。

●短期大学栄養講座
お母さんたちと安全で安心な食を学ぶ
常磐短期大学栄養講座（調理実習）が平成十五年十二月十五日に行われた。この講座は本学附属幼稚園と短期大学が共同で行ったもので、園児のお母さんたちに安全で安心なおやつ作り方を紹介する調理実習。「子どもが喜ぶおやつ・親が食べさせたいおやつ」

をテーマに、乳製品や野菜芋類を使ったおやつ作りが行われた。参加したお母さんたちは普段は家庭の主婦というところもあり慣れた手付きで次々とおやつを調理。調理実習室には香ばしい焼き菓子の香りが漂っていた。

この講座の背景には、現在、全国的に広がっている食育活動がある。食育とは健康を管理するため、毎日の食事を見直すという動き。食の安全性が問題化している中、大きく注目される活動だ。今後も短期大学では、安全で安心な料理を理論と実習で学ぶ意味も含めて、この活動を継続させる考えだ。



ケース検討を行うカンファレンス室。

地域で生活する人たちの心の悩みに応える「常磐大学心理臨床センター」が一月二十七日に移転開設され、その開所式が行われた。



地域の人々の心の悩みに応える心理臨床センター
正田亘センター長（左）諸澤英道理事長（中央）大堀哲学長（右）の3名が心理臨床センターのテープカットを行った。

高

校生の頃から、将来は教育関係の仕事をしたかった。地元にいる時もボランティア活動や生徒会などを行っていたので、教師とは違う道で何か出来れば良いなと探していたんです。大学を受験するときも、どの学部に進めばいいのかわからなかった。私が生涯学習に目を向けたのも、その頃でした。もともと父が生涯学習に携わった仕事をしていたので少しは知っていたのですが、調べていくと自分に向いている分野のようないない感じがしたんです。それで本大学のコミュニティ振興学部なら、より詳しく学べると思って入学しました。



川又 宏美

コミュニティ振興学部
コミュニティ文化学科
(栃木県立真岡女子高校出身)
岩手県東和町役場 内定

情報収集は独自のネットワークが鍵になる!

私も引き込まれてしまいました。先生方の熱意ある授業に、私たちも真剣に応えようと必死でした。そして三年生の夏に、ゼミの西川先生から、「一度仕事を体験してみないか」と声をかけていただいたんです。私自身も机の上だけで学んでいたのでは現場では使えないのでは、と感じていた時期だったので、参加させてもらうことにしました。その研修先だったのが、岩手県東和町役場。その町役場では、実際に生涯学習に取り組んでいました。十日間の研修中は仕事を与えられたというより、むしろ行政はどういうことをしているのかを学ばせてもらった感じでした。会議にも参加させてもらったので、学生という立場から提案などをするこ

もでき、とても勉強になりました。その二か月後、十月頃になると学内で説明会が行われたり、周りの友人たちも動き始めたので就職活動を真剣に考えるようになりました。でも同じ学部で実体験を聞ける先輩がいなかったため、気ばかり焦ってましたね。とりあえず自己分析をしてみると、研修を体験したことで、公務員になりたいという気持ちが強くなってきてました。でも、民間の企業と掛け持ちして就職活動をした方がいいのか、それとも公務員一本に絞った方がいいのか、よく分からなくて。そんなときは先輩からのアドバイスが欲しかったですね。

まだまだ試験に対して真剣になることができませんでした。四年生の六月、初めて他県庁の採用試験を受けました。結果はもつ散々。試験もすごく難しかったです。でも、それ以上にほかの受験者が自分よりも真剣に勉強しているのが分かりました。ちゃんと予備校に通っている人もいましたよ。この試験でやっと、私は熱意だけで押そうとしてた自分の甘さに気付きました。次の市町村役場の試験は秋。その後の三か月間は、問題集を毎日八時間勉強しました。でも、秋になると企業の内定をもらう友達も増えてきて、内心は一人で焦りを感じてました。もう後がない状態だったので、就職浪人考えたこともありません。

試験の情報は、主に公務員受験専用のホームページで調べました。公募がどの役場であるのかとか、問い合わせ先とかが書いてあるので、自分で電話をかけて聞いたこともありません。後は違う大学で公務員を目指している友達と情報交換をしたり、地元で公務員をしている先輩にもアドバイスをしてもらいました。情報が少ない分、独自のネットワークを作ることを中心に頑張っていました。公務員は、採用基準がなかなか分かりづらい部分もありますが、そこであ

2004 就職内定者インタビュー

side:A

コミュニティ振興学部

College of Community Development

今年、一回目の卒業生を送りだすコミュニティ振興学部。先輩がいないということは、学生たちの就職活動もまったく初めてのチャレンジということだ。ただでさえ厳しさが増す就職戦線を学生たちはどう戦ったのか？

イ

インターネットの就職サイトに登録したのは、三年生の一月半ばを過ぎた頃。これが就職活動の第一歩ですね。登録はリクナビや日経など、複数のサイトでやりました。それまでに、すでに活動を始めていた人がいるのは分かってはいたんですが、仲の良い友人もまだ動いてないし、僕自身はまだ先のことに感じていたんです。でもサイトに登録したことで、少し変わってきましたね。インターネットを採用試験の日程を調べたり、企業研

究を行ったり、少しずつ動きが出てきたような気がしました。サイト上の掲示板には、同じように就活をしている人の書き込みもあつたんです。いつもは先送りしてしまつてますが、ほかの人も頑張ってると思うと、僕も頑張らなきゃいけないなと励みになりましたね。自分の中で更に就職への意識を高められたような気がします。同じころ、就職課が主催したパスツアーで、都内の合同企業説明会にも参加しました。会場では他大学の人の活動の様子を見

たことは、すごく刺激になりました。やっぱり茨城の学生よりも熱意というか、真剣な感じがしましたね。僕は地元での就職を考えていたので、その後、地元で開催されていた合同説明会にも度々参加するようにしてました。僕のいるコミュニティ振興学部には先輩がいなかったため、情報収集に使える情報源を最大限に活用しようと思っていました。インターネットを中心にしながら、就職課も利用しました。体験ファイルを読んだり、面接マナーのアドバイスをもらったり、何かと役に立ちましたね。学内の友人にも直接話を聞いて、できる限り具体的な情報を集めたつもりです。



塩澤 賢二

コミュニティ振興学部
コミュニティ文化学科
(茨城県立那珂高校出身)

株式会社ジョイフル本田 内定

早めの活動が、成功を導く秘訣です!

二次試験は面接で、一次で書いた作文同様、志望動機などを聞かれました。僕の場合、面接が苦手なので緊張してうまく話せなかったような気がします。でも、その時の面接官が合同説明会に来ていた方だったので、何度か面識があったので、全く初対面の人に比べる少しは良く話せたのかもかもしれませんね。合同説明会へ行っておいて良かったな、と思いました。三次試験も面接。ここでは、二次よりも厳しい質問が多かったですね。業界研究とか、自分の将来設計などが甘いとが言われてしまいました。受験者数は大分限られていたのですが、質問の様子では内定は無理かもしれない、と不安でした。

「ジョイフル本田」の一次試験が最初でした。ここが僕の第一志望だったので、正直なところ、その前に何社か受けておきたかったですね。一次試験では筆記試験と、志望動機についての作文がありました。ジョイフル本田では店舗のディスプレイなどで顧客を楽しませる空間作りをしているんです。僕がコミュニティ振興学部で学んだのは、サービス利用者の顧客満足について。これなら、大学で学んだことを活かしながら会社の理念に沿ってサービスをしていけるのではないかと考えたんです。作文では、そうしたことを軸に自分の意思を表現することができたと思います。ただ、受験者数がかなり多かったため、自信はありませんでした。

幸い、内定をいただくことができたのですが、今考えれば自己分析や企業研究などももう少し掘り下げれば良かったなと思います。もっと明確な意見を持つていければ、緊張してても話せることがあつたかもしれないし、それに自分が面接やインタビューで緊張するタイプだと分かっていたら、何か対策もできたはずなんです。そのために、もっと早くから活動を始めるべきでしたね。事前に幾つかの企業を受けておけば、面接の経験を積んで第一志望の会社に向き合えることができました。就職活動では、何よりも早く動き始めることが大事。先輩の皆さんも、限られた時間を有効に使って活動に励んでください!

私

なぜコミュニティ振興学部を選んだかと言つと、高校の先生に勧められたことが直接的なきっかけです。それからヒューマンサービスという言葉に惹かれたことも事実ですね。そのころ、ちょうど叔父がケアマネジャーの資格を取ろうとしていて、福祉に対する漠然とした興味があったんです。実際に入学すると、いままでも知らなかったことがたくさんあって、こういった知識を活かしてみたいと少しずつ思うようになりました。

福祉を職業として意識するようになったのは、一年生の六月ごろに友だちとボランティアサークルを立ち上げて、福祉施設の現場を体験するようになってからです。このサークルは、CVC



内田 佳代子
コミュニティ振興学部
ヒューマンサービス学科
(茨城県私立常磐大学高校出身)
社会福祉法人征峯会
知的障害者更生施設ピアしらとり
内定

ボランティアで現場を知ることが大切です!

「コミュニティ・ボランティア・サークル」といって、地域に根ざしたボランティアを行うことを目的としたもの。他にもボランティア関連のサークルはいくつかありましたが、国際的な活動などをメインとしたものが多く、身近な活動をしているものがなかったんです。CVCの具体的な活動内容は養護施設などでお手伝いをする。それまで想像の域を出なかつた福祉の現場が現実になったわけです。そこで私は「あれっ、意外と楽しい!」って感じました。そして二年の九月には福祉臨床実習で初めて実習という形で現場を体験させていただきました。そしてこの世界に飛び込もうと決心したのは三年の二月から三月にかけて行われた社

会福祉実習でした。このときはひたひたな市の社会福祉協議会の紹介で心身障害者福祉センターのお手伝いをさせていただきました。この施設には知的障害を持った方が比較的多く、こういう施設で働きたいって真剣に思うようになりましたね。もちろん高齢者の施設などにも行ってみたいんですが、私にとっては、知的に障害を持った方と様々な大きなやり甲斐を感じました。この方には、こんなふうにものが見えているんだって分かってくると、もう毎日が新しい発見ばかり。なんだかお互いに成長できるんじゃないかって、それから授業で、障害者が作った詩にスタッフの方などが曲を付けて、歌で福祉を発信する施設の活動をビデオで

見たんです。すごく感動しましたね。そこも知的障害者の施設で場所は奈良県なんです。友人と実際にそこを訪れて、私もこんな施設を作りたいって思いました。それで四年生になったときには、一般の企業には就職しないって決めましたね。就職活動として最初に行ったのは、水戸市にある総合福祉会館の人材センターに登録すること。ここに登録しておく、福祉施設に紹介状を書いてもらえるんです。それから福祉施設の就職説明会にも参加しました。六月と九月と十二月に開催され、そこで採用情報などを収集します。私が絞り込んで探していたのは知的障害者の更生施設。高齢者の施設は比較的多いんですが、

知的障害者は数が限られていて大変でした。試験対策として行ったのは、初級公務員試験の問題集で一般常識を身に付けること。面接のシミュレーション。面接の練習は友人にも協力してもらいましたが、一番お世話になったのは福祉実習準備室の職員の方です。実際に現場で働いていた方なので、面接以外にも履歴書の添削などいろいろ相談に乗っていただきました。

「社会福祉法人征峯会知的障害者更生施設ピアしらとり」の試験が行われたのは今年

2004 就職内定者インタビュー

side:B

コミュニティ振興学部

College of Community Development

僕

はもともと福祉関係に進みたいと思っていたので、福祉関係の資格に結びつく勉強ができる大学を探していました。それと言つても、いとこが知的障害者で、通っている施設に対する保護者の不満などをよく耳にしていたから、自分の力で変えるまでには行かなくても、少しでも良い方向に向かうよう福祉と関わっていきたくったんです。僕が入学したとき「コミュニティ振興学部はできたばかりの学部で、上級生がいないう不安もありました。が、

「社会福祉法人征峯会知的障害者更生施設ピアしらとり」の試験が行われたのは今年

Table with 2 columns: 学科名 and コース名. Includes Human Service, Community Cultural, and Community Welfare Management courses.

大学自体は歴史のある大学。先生方も素晴らしい方ばかりなので、信頼していました。実際に授業を受けてみても、僕が学びたかった社会福祉の根本的なところを扱う科目が多く、とてもプラスになったと思います。最終的には、本学のコミュニティ振興学部に進むことに決めましたが、最初は社会福祉施設で働きたいと考えていたんです。普通に就職活動を行っていたら、総合福祉会館の人材センターに登録したり、インター

ネットの就職関連サイトに登録したりでも一般的な就職関連サイトからはほとんど情報は入ってきませんでしたね。人材センターは自分が出した条件と合う求人がある、連絡をいただけるところもありました。でもやはり一番活用できたのは、大学の就職課にある求人ファイルですね。福祉施設のある求人ファイルでもでているものではなく、大学や人材センターなどに限られている場合が多く、基本的には自分でチェックすることが大切ですね。

僕の場合は高齢者福祉施設に絞り込んだ活動を行いました。入学当初は知的障害者の施設に関心があったんですが、実習などを通してだんだん変わってきたんです。高齢者の方とはコミュニケーションが取りやすいと言つた。信頼関係が築きやすい。それから世代が違つても面白いと思ひました。それぞれの人にさまざまな人生があつて、そういうお話が聞けることは自分のためにもなります。同じ世代の友人とは、話は合いますが広がりがありません。やはり自分が楽しいと思ひたい。福祉施設で働きたいと思ひました。社会福祉施設の説明会は六月ごろから、大体二か月おきに十一月まで開催されます。試験対策は福祉実習準備室の職員の方から履歴書の書き方や面接の仕方などを教えていただきました。それから一般論的なことではなく、自分が受験する施設がどういう理念で何を行っているのかを調べたりもしました。



加藤 大輔
コミュニティ振興学部
ヒューマンサービス学科
(千葉県立匝瑳高校出身)
常磐大学大学院
コミュニティ振興学研究所

福祉の根本を突き詰めて研究します!

内容は論文と面接。論文のテーマはミュージアムやボランティアなど四つの研究領域からひとつを選んで書く。僕が選んだのはもちろん社会福祉大学の授業をちゃんと受けていけば、難しいテーマではないと思ひます。面接で聞かれたことは研究計画の内容や動機が中心。面接官はいつも授業を受けている教授なので緊張はしませんでした。でも研究計画の詰めが甘さを指摘され、勉強になった感じがします。大学院では「福祉業界における資格制度」を研究します。現場で働くことはとても重要ですが、福祉の根本を突き詰める研究も重要だと思ひています。

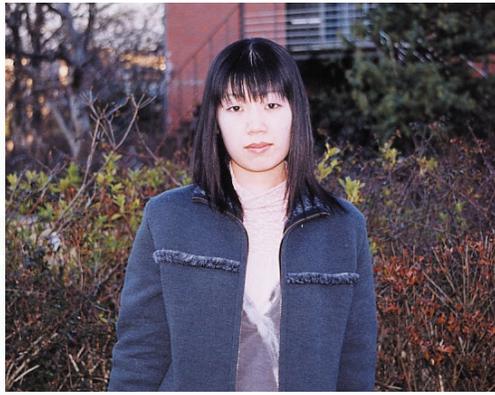
た。僕たちは一期生で先輩がいないため、実績がないという面では少しハンディを感じました。でも逆に考えれば、先人観をもたれず自分たちで常磐大生像を作っていくというやりがいもありました。それで、就職活動も順調に進み十月には千葉県福祉施設から内定をいただきました。もちろんその時点では、その施設に就職しようと思ひていましたが、十二月に入ったところ「コミュニティ振興学研究所」のお話を聞いたんです。この話を聞いてから、福祉の根本的なところを分野を絞って勉強し、それから現場にでも遅くはないと考えるようになりました。それで十二月中旬に行われた大学院の試験を受けまし



さあ、いよいよ爽やかな春がやってきました！
春は誰もが、新しいフィールドに向かって大きく飛躍する季節。
そこで今回は、各分野で活躍する「きらり人」を三人紹介します。
皆さんも、自分の夢をかなえるステップを踏みだしましょう！



平成15年度・小学校教員資格認定試験合格 人間科学部/人間関係学科・教育学専攻三年 鈴木 絵美 小学校教員という夢に向かって！



小さい頃から、小学校の先生になることが私の夢でした。でも私が常盤大学を卒業することで取得できる資格は、社会科の中学校教諭資格と高等学校教諭資格。だから卒業してから通信教育で勉強して、小学校の教員資格を取得しようと思っていました。でもゼミの先生から、小学校教員資格認定試験に合格すれば小学校の教員免許が取得できるって聞いたんです。私が所属しているのは学校教育学を研究する教育学専攻の森山賢一先生のゼミ。日頃から現在の教育課題を検討したりディスカッションしたりしているので、もしかしたらという思いもありましたね。それで二十歳以上という受験資格をクリアするのを待って、挑戦することに決めました。本格的に試験勉強を始めたのは、昨年(平成15年)の二月ごろ。平均倍率が約十倍という難関で、現役の常盤大生はまだ合格者がいないと聞いてい



小学校教員資格認定試験合格証書

たので簡単に合格できるとは思っていませんでした。でも森山先生から教員採用試験と問題が似ているというお話をうかがって、いつかは受験するんだから早めに勉強を始めることは自分プラスになると思って頑張りました。八月下旬に行われた一次試験は、教職教養や小学校の全科目筆記試験。十月中旬に行われた二次試験では、実技試験や、専門教科の科目試験などが実施されました。そして最終の三次試験。この試験は会場となった横浜国立大学附属小学校で実際に行われている授業を見学し、それに基づくレポートを提出したりディスカッションを行ったりするもの。最終試験に残った受験者は、教育とは直接関係のない学部(学生)や四十歳を過ぎた社会人の方までいらっしやいました。だからディスカッションでは、さまざまな立場からの意見が飛び交い大変勉強になりました。私が合格できたのは、森山先生の親身なご指導と心の支えとなってくれた友人や、適切なアドバイスをしてくれた森山ゼミの先輩たちのおかげです。これからも皆さんに対する感謝を忘れず、来年の教員採用試験に向けて頑張りたいと思います。

中央大学編入 短期大学/教養学科 秘書・国際コース二年 君島 朋美 次の目標はファイナンシャルプランナー！

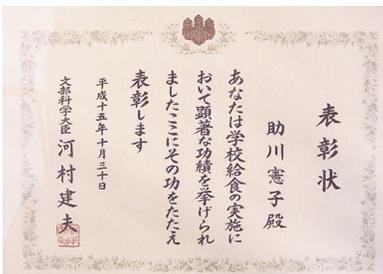


中央大学への編入を考えはじめたのは、短大一年の七月下旬ごろ。きっかけは、六月に行われた教育実習で生徒たちに授業をしていたうちに、もっと勉強がしたくなったんです。もちろんそれまでは就職を考えていたのですが、どうしたら良いか悩みました。そこで先生に相談すると、中央大学への編入試験を受けてみないかって。選んだ学部学科は、商学部金融学科。就職活動で銀行や証券会社に興味を持ち詳しく勉強してみたくなったんです。それから先生に協力していただきながら勉強の毎日。受験科目は英語と小論文と面接です。英語には少しだけ自信があったので、小論文対策にかなり時間を費やしました。というのも過去の問題集を見てみると自分の考えを書くような論文ではなく、経済に関する詳しい知識がなければ書けないようなテーマが出題されていたからです。



だから新聞を読むことはもちろん、金融商品に関する経済の本や経営学の本を一冊全部ノートに書き写し、暗記するようにしました。それぞれ百ページ以上ありましたから大変なことは事実です。でもその反面、知識が増えて嬉しくもありましたね。試験会場に入ると、百名ほどの受験者全員が新聞を読んで勉強していました。少し圧倒されましたが、試験の手こたえはまずまず。十一月には合格の通知が来て、今年の四月から中央大学に通うことになりました。常盤短大で学ぶことができて本当に良かったと思っています。いろんな先生方のご指導のおかげで視野が広がり、人間的にも大きく成長できました。とにかく勉強をする最も良い環境にいるのが学生時代。遊ぶことも大切だと思いますが、勉強をし、本を読み、人間としての基礎を築くのはいいと思います。これからはファイナンシャルプランナーの資格を目指して、中央大学で頑張りたいと思っています。

平成15年度・学校給食文部科学大臣表彰 茨城県学校栄養職員・水戸市立寿小学校勤務 助川 恵子さん 学校給食を生きた教材として活用！



文部科学大臣から贈られた表彰状

城原小学校栄養職員で、現在水戸市立寿小学校に勤務する助川恵子さんが、文部科学大臣より学校給食功労者として表彰状を贈られた。助川さんは常盤学園短期大学・家政科食物栄養専攻の第一期生。卒業後、管理栄養士の資格を取得し、茨城町教育委員会、水戸市に設置された学校給食調理場を経て、現職に至っている。「私が在学していた当時は短大に寄宿舎があって、寒い冬などは炬燵にオバーを掛けて夜遅くまで勉強しました。一期生である私たちは、他の大学生に負けられませんからね。それで、難しいと言われていた管理栄養士の資格もすぐに取得したんです」

学校に恥じないよう、何事にも精一杯取り組んできた助川さんは語る。その活動は現在も幅広く、本学出身の栄養士たちで研究グループを作り、学校給食を生きた教材として活用するための教育論文も発表している。「子供たちの食が乱れている現在、栄養士が食の教育を行うことは非常に重要なことだと思っています。毎日の給食を、生きた教材として教育できるのは私たち栄養士ですから」
実際に教壇に立ち、食に関する指導を行うことはもちろん、季節にあわせた行事食を取り入れることをはじめ、「世界味めぐり」として世界の国々の食事を給食として紹介。その国の場所や国旗、文化や生活なども学べる総合的な学習として実施されている。「栄養士の仕事は創意工夫。その人の経験が全て活かされる仕事だと思えます。例えば、栄養の歌を作って生徒たちと歌ったり、料理を絵で紹介するのも楽しいですよ。だから栄養士を目指す皆さんは、個性を活かして素晴らしい栄養士になってほしいと思います。それから、本学にも早く四年制の管理栄養士養成課程ができるといいですね」
食に関する関心が高まる現在、助川さんをはじめとする食のスペシャリストたちの活躍が、全国的に大きく期待されている。

四百年の歳月を超えて、いまも人生の深淵を語り続ける
素晴らしいシェイクスピア作品の数々。
村松先生はその作品を通して、英語能力の向上だけではなく
異文化としての英語の読み解き方を学生たちに教えている。
さて、文学を通して展開されるイングリッシュ・リテラシーとは?!

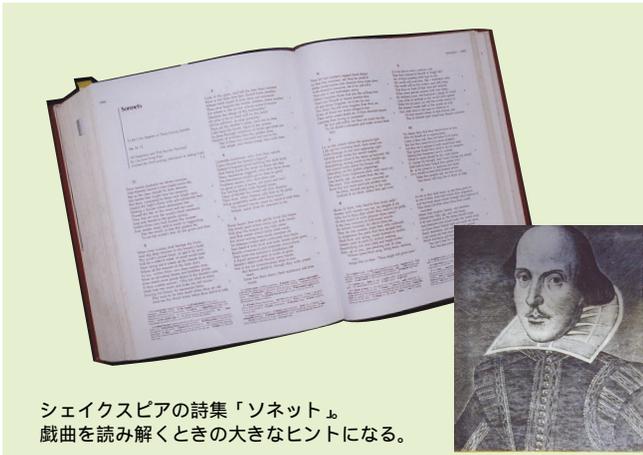
短期大学・キャリア教養学科 村松俊子助教に聞く

シェイクスピア文学

シェイクスピア作品から 異文化の存在を知る。

詩人・シェイクスピアが
紡ぎだす台詞の魅力

十六世紀から十七世紀のイギリス・
エリザベス朝時代に、数々の素晴らしい
戯曲を書き上げたシェイクスピア。
その作品は現在も舞台や映画に取り上
げられ、四百年の歳月を超えて人々に
感動を与え続けている。そして、その
シェイクスピアの魅力にとりつかれ、
研究を続けているのが村松先生だ。
「大学で初めて読んだ『十二夜』と



シェイクスピアの詩集「ソネット」。
戯曲を読み解くときの大きなヒントになる。

「シェイクスピアを分類する
ときに、多くの人は劇作家
だと考えるでしょう。しかし
彼は劇作家である前に、詩人
なんです。だから、彼は詩で
台詞を書いた。つまり口語体
ではなく韻文なんです」
村松先生の専門は詩集『ソ
ネット』の研究。そしてこの研
究がシェイクスピア作品を読
み解く大きなヒントになる。
「若い頃は詩ばかり読んで
いました。それから徐々に戯
曲を含めて作品全体を読んで
いった。最初は詩と戯曲を分
けて考えていたんですが、あ
るとき、この詩の一行は、芝
居のこの場面で表現されてる

むらまつ としこ
学習院大学大学院人文科学研究科・
イギリス文学専攻博士課程修了。専
門はイギリス文学。日本文学学会、
日本シェイクスピア協会会員。著書
に『誘惑するイギリス(共著)』など
がある。昭和六十二年より現職。



「シェイクスピアを分類する
ときに、多くの人は劇作家
だと考えるでしょう。しかし
彼は劇作家である前に、詩人
なんです。だから、彼は詩で
台詞を書いた。つまり口語体
ではなく韻文なんです」
村松先生の専門は詩集『ソ
ネット』の研究。そしてこの研
究がシェイクスピア作品を読
み解く大きなヒントになる。
「若い頃は詩ばかり読んで
いました。それから徐々に戯
曲を含めて作品全体を読んで
いった。最初は詩と戯曲を分
けて考えていたんですが、あ
るとき、この詩の一行は、芝
居のこの場面で表現されてる

学生たちの身近なテーマ ロマリオとジュリエット

村松先生は、ひとつの作品を完読す
ることが重要だと話す。もちろん授業
にもシェイクスピアを取り入れ、ひと
つの作品を読み通す面白さを学生たち
に伝えている。
「昨年のイングリッシュ・リテラシー
の授業では、『ロマリオとジュリエット』を
取り上げました。モンタギューやキャ
ピレットなど古い固有名詞に最初は戸
惑っているようでしたが、若い男女の
恋愛物語は学生たちにとって身近なテ
ーマ。それから映画化も二度されている
ので、ビデオを見比べて英文を読む
つちに興味が湧いて、学生たちも最後
まで読み切ることができたようです」
英文学を読み解くことは、英語能力
を身に付ける以外にも、さまざまなか

「言葉は文化です。つまり英文を読
むことは異文化体験でもあるんです。
例えば『ディッファレント』という言
葉も、そのまま『違う』と訳すと日本
人はマイナスのイメージを持つ。人と
違っているとか協調性がないと捉える
んです。でも欧米では、自分の個性
や考え方が確立している好ましい状態
を意味する場合があります。そういう
ことを文脈の中で把握するわけです。
特に文学の場合は一つひとつの言葉が
重要になります。なぜこの言葉がこ
で使われているのかを考えると作者が
伝えたいことが分かってくる。そして
自分はどう思うのかコメントすること
が大切ですね。こうした繰り返しの中
で、違う文化が体験できるんだと思
います。言葉から感じるイメージやニュ
アンスの違いが文化の違いだと学びと
ればいいのではないのでしょうか」
またこの異文化体験は、社会人とし
ての大切な教養を育ててくれる。
「あなた方は私にとって異文化だっ
て、学生によく言います。それは私と
は違ったモノの見方や考え方をしてい
るといった意味、学生の間は、周りの人
たちの年齢も近く、同じ考え方だと安
心していられます。しかし社会に出る
と、年齢も性別も違う人たちの中で生
活しなければならぬ。そういう異
文化を持つ人々を理解するためには、
まず、違う考え方をしている人の存在
を知る必要があります。文学はそのい
った身近にある異文化を教えてください
テキストだと思っただけです。文学を読む
ことは自分とは違った世界に入り込む
こと。文学の世界に入り込み想像力を
養うことは、自分を豊かにしてくれる
ことです」
さまざまな人生が詰まったシェイクス
ピア文学は、より良い生き方を考えさ
せてくれる絶好のテキストと言えよう。

とを学ぶきっかけになる。

異文化を教えてくれる 文学作品の世界

「言葉は文化です。つまり英文を読
むことは異文化体験でもあるんです。
例えば『ディッファレント』という言
葉も、そのまま『違う』と訳すと日本
人はマイナスのイメージを持つ。人と
違っているとか協調性がないと捉える
んです。でも欧米では、自分の個性
や考え方が確立している好ましい状態
を意味する場合があります。そういう
ことを文脈の中で把握するわけです。
特に文学の場合は一つひとつの言葉が
重要になります。なぜこの言葉がこ
で使われているのかを考えると作者が
伝えたいことが分かってくる。そして
自分はどう思うのかコメントすること
が大切ですね。こうした繰り返しの中
で、違う文化が体験できるんだと思
います。言葉から感じるイメージやニュ
アンスの違いが文化の違いだと学びと
ればいいのではないのでしょうか」
またこの異文化体験は、社会人とし
ての大切な教養を育ててくれる。
「あなた方は私にとって異文化だっ
て、学生によく言います。それは私と
は違ったモノの見方や考え方をしてい
るといった意味、学生の間は、周りの人
たちの年齢も近く、同じ考え方だと安
心していられます。しかし社会に出る
と、年齢も性別も違う人たちの中で生
活しなければならぬ。そういう異
文化を持つ人々を理解するためには、
まず、違う考え方をしている人の存在
を知る必要があります。文学はそのい
った身近にある異文化を教えてください
テキストだと思っただけです。文学を読む
ことは自分とは違った世界に入り込む
こと。文学の世界に入り込み想像力を
養うことは、自分を豊かにしてくれる
ことです」
さまざまな人生が詰まったシェイクス
ピア文学は、より良い生き方を考えさ
せてくれる絶好のテキストと言えよう。

今年はオリンピック
イヤーだ。国内では陸
上をはじめとするさまざまなアスリー
トたちが、オリンピック代表の座をか
けて日々戦っている。また、バレーボ
ールやサッカーのように、たとえ日本
代表に選ばれても、厳しい予選を勝ち
抜かなくてはオリンピック出場の切符
が手に入らないスポーツもある。オリ



キャンパス情報を
携帯電話でキャッチ！
学 内のさまざまな情報を携帯
電話、パソコンで知ること
ができる画期的なウェブシステム
が、二月二日に稼働を始めた。こ
のシステムはサーバーでデータを
一元管理し、専用のウェブページ
や学内に設置された六台のプラズ
マディスプレイなどへデータを配
信するというもの。もちろん携帯
電話で専用のウェブページにア
クセスすることで、いつでもどこに
も休講、補講、イベント情報など
を取得することが可能。まさに、
ユビキタス時代の新システムと言
えよう。
これまでもパソコンを利用した
情報配信サービスは行ってきた。
だが、毎日各課から送られてくる

いつでもどこでも学内情報にアクセス!

メールは長文
で、読みづらいとこ
ろが難点。登録者数も三、四百人
と伸び悩む現状だった。
しかし、このシステムを導入し
てからは、一日に約百二十人ほど
のアクセスがあり、その使い勝手
の良さを証明している。
利用方法は簡単で、携帯電話か
らホームページにアクセスし、E
Dとパスワードを打ち込むだけ。
あとは表示されるカレンダーの月
日をクリックすれば、さまざまな
情報を取得できる。もちろん、学
部やゼミなどの個別情報を見るこ
とも簡単だ。今後は、学生からの
情報等をウェブ上で登録できる双
方向性の実現に向けて開発が進め
られるという。
キャンパスは
すでに学内だけ
ではない。就職
活動や実習など
で遠方にいる学
生でも学内の状
況が分かる、パ
ーシャルキャン
パスの時代がは
じまるように思
える。



ンピックは出場することに意味がある
と言った、確かに出場するだけでも容
易なことではないことは事実だ。
さて、本学の学生たちも、就職戦線
という厳しい戦いに向けてスタートを
切った。恒例となりつつある「就職支
援バスツアー」も実施され、東京とい
う最前線でモチベーションも高まった
ことと思う。就職戦線はオリンピック
とは違い、参加するだけでは意味はな
い。より一層の健闘を期待したい。

http://www.tokiwa.ac.jp/

*TOPOSに対する御意見は kouhou@tokiwa.ac.jp. までお寄せ下さい。

*古紙の利用・70%の再生紙を使用しています。